

## モモのトンネルハウス栽培による 収穫の前進化と品質向上

農業研究センター 球磨農業研究所  
担当者：春崎聖一

### 研究のねらい

加温や無加温ハウス栽培モモは、露地栽培より品質が安定しており、高単価であるが、施設費用が高価であるため普及面積が限られている。そのため、低コストで導入可能なトンネルハウスでの高品質・安定生産のための栽培技術を確立する。

### 研究の成果

1. 樹体生育は、トンネルハウス栽培が露地栽培よりやや旺盛となる（データ略）。
2. 開花期と収穫期は、露地栽培より1週間程度早い（表1）。収穫期が「日川白鳳」より遅い品種は、本格的な梅雨期での収穫となり、果実品質が低下するため、導入を避ける。
3. 糖度は露地栽培より「はなよめ」で約1度、「日川白鳳」で約2度高く、健全果率も高い（表2）。
4. 天井ビニールの被覆開始時期（2月上旬、2月中旬、3月初め）は、開花期と収穫期にはあまり影響しない（表1）。したがって、低温の被害が少ない2月下旬または3月初めの被覆開始が適する。
5. 天井ビニールの除去は、降雨の影響による品質低下を防ぐため、収穫後に行う。ただし、収穫後は施設内が高温となり、樹体に悪影響を及ぼすおそれがあるため、なるべく早期に除去する（表3，図1）。

### 普及上の留意点

1. 開花直前から結実期にかけて、 $-2$ 以下の低温に遭遇すると、花や樹体に障害を受けるので、凍害対策が必要である。
2. 成熟期に棚面の温度が高温になり、果実品質や日持ち性に悪影響を及ぼす場合があるので、施設内の換気対策を十分に取りながら、適期収穫を心掛ける。
3. 導入にあたっては、灌水施設を必ず設ける。

[ 具体的データ ]

熊本県農林水産部



写真1 モモのトンネルハウス施設



写真2 トンネルハウスにおける「はなよめ」の生育(6年生)

表1 天井ビニール被覆開始時期の違いによる開花期と収穫期への影響

品種	被覆日	開花期(月.日)			収穫期(月.日)		
		始	盛	終	始	盛	終
はなよめ	2. 1 (2月上旬)	3.21	3.25	3.30	6. 8	6.12	6.16
	2.15 (2月中旬)	3.23	3.25	4. 1	6. 8	6.13	6.15
	3. 1 (3月初め)	3.25	3.29	4. 5	6. 9	6.14	6.16
	露地(無被覆)	3.30	4. 2	4. 7	6.16	6.18	6.21
日川白鳳	2. 1 (2月上旬)	3.22	3.26	4. 1	6.16	6.20	6.23
	2.15 (2月中旬)	3.24	3.28	4. 2	6.17	6.20	6.23
	3. 1 (3月初め)	3.27	3.30	4. 6	6.17	6.20	6.24
	露地(無被覆)	4. 1	4. 4	4. 7	6.24	6.28	7. 3

注) 2005、2006年の平均

表2 トンネルハウスと露地栽培の果実品質比較

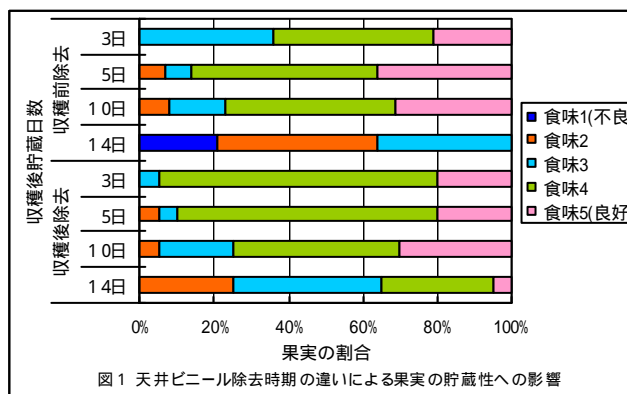
品種	作型	1果重(g)	糖度(Brix)	硬度(kg/cm <sup>2</sup> )	着色	健全果率(%)
はなよめ	トンネルハウス	201.4	12.7	1.5	4.5	76.5
	露地	193.8	11.8	2.0	4.6	39.4
日川白鳳	トンネルハウス	208.0	13.3	1.7	4.0	69.0
	露地	218.7	11.6	2.1	4.0	36.7

注) ・2004～2006年までの平均(天井ビニール被覆日は2月15日)  
・着色は不良(1)～良好(5)までの5段階評価による

表3 天井ビニール除去時期の違いによる果実品質への影響

除去時期	1果重(g)	糖度(Brix)	硬度(kg/cm <sup>2</sup> )	着色
収穫前	174.5	11.5	1.9	4.3
(満開50日後)				
収穫後	156.9	12.4	1.9	4.3

注) ・品種は「はなよめ」(2004年)  
・収穫2～4日前に36mmの降雨あり  
・着色は不良(1)～良好(5)までの5段階評価による



注) ・品種は「はなよめ」(2004年)  
・食味は不良(1)～良好(5)までの5段階評価による  
・貯蔵は4日 で実施した